

148号
平成25年10月1日

発行
社会福祉法人
宗像市社会福祉協議会

〒811-3437 宗像市久原180
メイトム宗像2階
TEL 0940-37-1300

あたたかめよう 君の思い みんなの思い

10月1日～12月31日 赤い羽根共同募金運動始まる

赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉事業を支援するため「社会福祉法」に位置づけられ、毎年10月1日から12月31日までの間、全国一斉に展開されています。

この募金は、市内の全小・中学校での児童・生徒への福祉教育などの取り組みや各地域の福祉会、障がい児・者への福祉事業に使われています。今年もみなさんのご理解とご協力を願います。



たすけあいの心

日本で共同募金運動が始まって60年以上が過ぎました。この間、社会経済状況も急激な変化をみせ、人々の生活も意識も変わってきました。共同募金は、人々がともに生きていこうという「たすけあい」の心に支えられ、人々の幸せを願ってともに歩んできました。



平成24年度の実績額は、1,277万6,097円

自治会や町内会など地域住民のみなさんの協力を得て各世帯にお願いする「戸別募金」をはじめ、

平成25年度の募金の使いみち

平成24年度に宗像市で集められた募金は、全て福岡県共同募金会へ送金し、配分委員会などの審

市役所、学校、福祉団体を対象にクオカードなどの資料を活用する職域募金、学校や病院、公共施設、事業所などでの募金箱による募金などいろいろな方法でお願いしています。

www.akaihane.or.jp

赤い羽根データベース「はねっと」をご覧ください

査の後、平成25年度に、社会福祉協議会を含む各申請団体などに配分されました。平成24年度に集まった募金は「平成25年度共同募金の使いみち(表1)」のように有効に活用されています。共同募金は、募金をした地域で生きる寄付金です。

主な内容

赤い羽根共同募金運動始まる
ひとり親家庭バスハイイク参加者募集
ライフサポート事業の紹介
障害者生活支援センター・ピアサポート事業参加者募集
ボランティア入門講座参加者募集
おもちゃ図書館・子育てマイスター誕生
わたしたちが初代「子ども福祉員ピッコラ」です！
在宅介護者を応援します

(表1) 平成25年度共同募金の使いみち

平成24年度の実績額は、1,277万6,097円でした。ありがとうございました。この募金は平成25年度、下記のような活動に活用されています。赤い羽根共同募金は、みなさんのあたたかな気持ちを具体的な活動につなげていく「じぶんの町を良くするしくみ」です。

これからもご理解とご協力をお願いします。

項目	金額
高齢者の福祉に ☆在宅介護者の会への支援 ☆小地域ネットワーク活動助成金	460,000円
児童・青少年の福祉に ☆福祉教育読本「ともに生きる」の活用 ☆福祉教育推進校(園)指定事業	1,544,860円
障がい児・者の福祉に ☆手話講習会助成金 ☆おもちゃ図書館運営 ☆声の広報配布事業 ☆あじさいの会助成金 ☆身体障害者福祉協会支援 ☆あゆみの会助成金 ☆要約筆記ボランティアの養成	1,701,000円
母子・寡婦福祉に ☆母子寡婦福祉会への支援	295,000円
県内の福祉施設や災害準備金に ☆県内全域を対象とした社会福祉施設や福祉団体 ☆災害準備金	3,598,827円
福祉会活動の支援に ☆地域住民の自主的な地域福祉活動	2,945,000円
情報提供・啓発活動に ☆社協だよりの発行	502,740円
ボランティア活動に ☆福祉ボランティア活動連絡協議会への支援 ☆大島地区ボランティア団体助成金	627,000円
共同募金の事務費に ☆チラシの作成、資材の購入など	775,670円
子育て支援活動費 ☆地域福祉文庫連絡協議会活動の支援 ☆子育てネットワークこねっと助成金	326,000円

平成25年度の募金目標額

今年度の「目標額」は、昨年度実績と同額の1277万6097円です。この目標額を達成するために「平成25年度共同募金の使いみち(表1)」のような事業・活動を平成26年度も安定、継続して行うことができます。

7000円の目安額

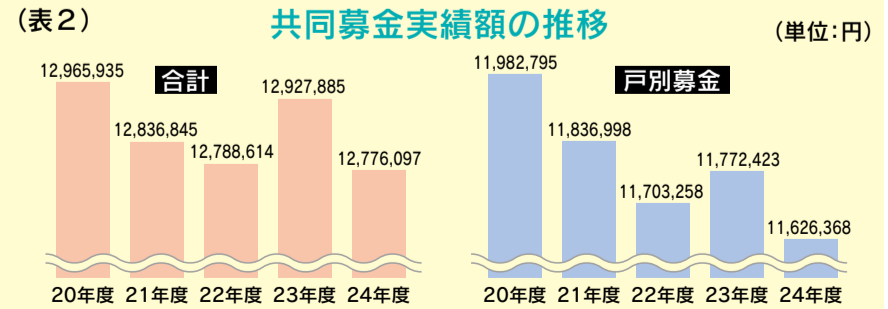
市全体の「目標額」は1277万6097円ですが、「一世帯ではどれだけの金額を協力したらいいのか」ということが分かりにくいいため、「一世帯7000円を目安に協力していただくと、計画されている事業が実施できます」と目安額をお知らせすることにしています。

**多くの人に
まえらわている
共同募金**

「共同募金実績額の推移(表2)」をみると、戸別募金(各世帯からの募金)が共同募金全体の約9割を占め、市内の多くの世帯からの募金に支

えられています。また、地域のいろいろな場面で、自治会長や組長、事業所や公共施設、学校の先生や児童、生徒のみなさんからの多くの支えで成り立っています。

ひとりひとりのたすけあいの心が、地域福祉活動に活用され、より住みよい地域をつくっていく原動力となります。みなさんのご理解とご協力をお願いします。



共同募金が活用されていく事業

高齢者にも絵本の楽しさを!

地域福祉文庫講演会

7月22日に「高齢者にも絵本を!」というテーマで講座を開催。講師は九州大谷短期大学の助教梅野智美さん。地域でサロン活動やボランティア活動をしている人や施設スタッフなど49人が参加しました。高齢者への昔話による読み語り、



高齢者の読み語りについて講演中

ひとり親家庭の仲間作りに活用しています

市母子寡婦福祉会長 池田 悦子さん



私たちの活動は、市民のみさんの善意により集められた赤い羽根共同募金の分配によって支えられています。ここに深く感謝しお礼を申し上げます。

市母子寡婦福祉会は昭和56年に発足し、34年の長い歴史を持っています。『悩み事は1人で抱え込まず、仲間分かち合いましょ!』をスローガンにこれまで多くの人が入会され、たくましく子育てをしてこられました。その姿を見ながら私

たちはひとり親家庭の悩みや不安なことについて仲間話し合い、励まし合い、そして助け合っています。

現在は30代〜50代のお母さんたち約40人が中心となってサロン活動を行っています。市社会福祉協議会やボランティアさんの大きな協力の下、「川遊び」や「1日バスハイク」が行われ感謝しています。

若いお母さんたちに子育て講座を開催して子どもの思春期問題を考えたり、家庭で手作りのおやつを食べてもらいたいとお料理教室もやったり、毎日働くお母さんの疲れた身体を元気にしたいと

つながれひろがれ 地域福祉! シリーズ⑩

家計の管理ができない!

Aさんは60代、軽度の知的障がいのある女性です。30代の息子と2人暮らしで、ふだんは障がいの通所施設で軽作業に従事しています。

息子にも軽度の知的障がいがありますが、障がいの者の就労・生活支援事業

業所の支援のおかげで就職が決まり、毎日頑張っています。

以前は一緒に住んでいたAさんの母親が家計管理をしていたのですが、母親が亡くなり親子だけの生活になった途端、お金の管理に行き詰まり、生活が困窮し、相談にきました。

金銭管理の支援を受けるようになって9年目。

当時の事をAさんに振り返ってもらいました。

『ライフサポート事業』の紹介



理や簡易な手続きの援助などを通じて自立した生活ができるように支援していく事業です。

問い合わせ先

☎(37) 1300
FAX(37) 1393

Q..金銭管理の支援を受けることになった時の気持ちは?

A..正直面倒くさいなあと思ったよ。

Q..そうよねえ。前は月に何回の支援だったの?

A..毎週やった。生活支援員さんが生活費

を持ってきてくれた。買い物の仕方を教えてもらったりした。

Q..今は2週に1回で家計管理できるようになったもんね。

A..たまに使いすぎる時があるけど。(訪問時に)子どもの事とかいろいろ相談できるし、今はありがたいと思ってる。

Q..将来的にはどうした

A..いつかは支援を受けなくてもいいようにしたい。子どもが独立したら1人でのんびりしたいな。

ライフサポート事業とは、65歳以上の高齢者、障がいのある人、難病疾患者などで判断能力が不十分な人、日常生活に困りの人に対し、金銭管

障害者生活支援センター

土・日曜日、祝日を除く 午前8時30分〜午後5時
☎(34)2411 ファックス☎(34)2422
メールアドレス aaw09180@nkg.odn.ne.jp

ピアサポート事業 参加者募集!

今回は、障害福祉サービス事業所「宗像学園」の利用者とピアサポーター(障がいのある相談員)と一緒に企画し、グローバルアリーナでバーベキューを開催します。また、バーベキュー終了後は、同学園利用者によるレクリエーションを予定。詳しい内容については、同センターに問い合

定。食事やゲームを楽しむながら、仲間と交流を深めませんか? 身体障害者相談員、知的障害者相談員も参加しますので、身近な相談も受け付けます。

●日時 10月27日(日) 正午〜午後3時
●場所 グローバルアリーナ
●送迎バスあり *東郷駅北口、赤間駅北口、熊越池公園前の3カ所に停車
●対象 障がいのある人
●定員 20人程度
●参加費(飲食費) 2000円



●申込期間 10月1日(火)〜10月15日(火)
●申込・問い合わせ先 同センター
☎(34) 2411
FAX(34) 2422

ボランティアセンター通信

日曜日 第1土曜日 祝日を除く午前9時30分～午後4時 電話 400-400
ホームページアドレス http://koujyunukan.com/v-net/
メールアドレス v-net@syakyo.munakata.com

ボランティア入門講座 参加者大募集!

ボランティアに関する基礎的な学習と、「絵手紙」の作成体験を実施。活動する時に必要な「互いを思いやる心」や、「観察力」「創造性」を磨きましょう。何か始めたい人やボランティア活動に関心のある人はぜひ参加してください。

●日時 11月12日(火)
9時15分～12時15分

- 場所 メイトム 宗像
- 持参品 古ハシ、下オルなど
- 定員 20人程度
- 参加費 300円(保険代など)
- 締切日 10月29日(火)
- 内容(予定) 「ボランティア活動について」「絵手紙作成体験」



昨年度の講座風景

■ 申込・問い合わせ先
同センター
* 第1土曜日・祝日の申し込みは、FAXまたは v-net@syakyo.munakata.com に受付



おもちゃ図書館で待っています

おもちゃ図書館に遊びにおいでよ

子育てマイスター(注)誕生!

「おもちゃの素晴らしさと遊びの楽しさ」のある人や子ども、高齢者を対象にしているおもちゃ図書館。そのボランティアスタッフに「ふくおか子育てマイスター」が誕生しました。マイスター認定研修でコミュニケーション方法や子どもの発達など

を学びました。

「今まで以上に、いおもちゃ図書館活動につながるよう頑張ります」というメンバーの意気込みが伝わってきます。

ぜひ、おもちゃ図書館を利用してください。

■ 問い合わせ先
同センター

(注) 豊かな経験を持つ60歳以上で子育て支援活動に興味がある人を「子育てマイスター」として認定・登録し、地域の子育てを応援する福岡県独自の制度。

わたしたちが 初「こども福祉員ピッコラ」です!

「こども福祉員ピッコラ」です!

今回のスクールは、高齢者に関する体験学習やボランティアとの交流学习が中心で、小学3年から中学1年の20人が参加しました。

「すべての人が安心して暮らせる街にするために何が出来る? どうすればいい?」

このテーマに沿った学習を3日間通して実施しました。「ボランティア活動って、自分から進んでするんだね」「みんなが安心して過ごす街を目指すことなんだ」など「ボランティア」に関する理解を深めた後、「高齢者」について学習しました。

今回は疑似体験を通して、身体的老化を体験しました。老化は心にも変化を



段差がわかりづらいなあ

与えます。自分自身のおじいさん、おばあさんが日頃どのような気持ちで階段を上ったり、字の読み書きをしているか、参加者なりに理解できたようです。さらに「認知症」という病気について学習し、「正しく理解すること」「認知症になっても心は変わらない」ことに気づきました。

最終日は、九州国立博物館で活動しているボランティアのみなさんと交流学習をしました。中には高齢の人もいました。知識が豊富でイキイキと展示物ガイドのボランティア活動をしている姿にみんな脱帽。「どんなことをきっかけにボランティア活動を始めたのか」「ボランティア活動で楽しいことは何?」など数々の疑問に快く答え

てくれました。修了証を手にした参加者は「こども福祉員ピッコラ」になりました。ピッコラの役割は、自分を含めたみんなの「ふだんの暮らしのしあわせ」を叶えるため、身近なところで「自分でできること」を進んで実行することです。このスクールで考えたそれぞれの行動計画は、もうすでに実行されているでしょう。そして、心を込めて色づけしたツールペイントの写真立てを贈られたおじいさん、おばあさんはきつと大喜びだったことでしょうね。

※ピッコラは伊語「doco」が由来。
●ピッコラ「小さい」が由来。



こども福祉員「ピッコラ」

介護の負担を軽くする素敵な福祉用品の見学に行きました!

市在宅介護者応援セミナー

市内で在宅介護をしている人を対象とした「市在宅介護者応援セミナー」を7月30日に実施しました。今回は、福岡市介護普及・実習センターに福祉用品の勉強をしに行きました。介護用ベッドや車イスから日常生活でよく使う箸や皿など様々な福祉用品があり、少しでも介護の負担を減らす工夫がされていました。

参加者は「種類が多く、最新の福祉用具を見ることができてよかったです。これからの介護の手助けになりそうです」という感想がありました。

少しでも介護の負担を軽減してもらうために、これからさまざまな介護についての情報や交流の場などを提供していきます。



センター職員から説明を受ける参加者

在宅介護者を応援します

在宅介護者1泊 リフレッシュセミナーの案内

このセミナーは、在宅介護者のリフレッシュを目的として1泊で実施します。

市内在住で、在宅介護をしている人が対象です。市社会福祉協議会の職員や市在宅介護家族の会「ひまわり」の役員も同行します。

あなたも介護の手を休めて、同じ介護者との楽しいひと時を一緒に過ごしてみませんか。

- 主催/市、市社会福祉協議会
- 実施日/10月24日(木)、25日(金)
- 対象/市内在住で、在宅介護をしている人
- 行先/大分県九重方面(予定)
- 宿泊地/九重悠々亭(予定)
- 参加費/1人5000円
- 募集人員/抽選で30人
- 申込方法/10月3日(木)までに市社会福祉協議会(37)1300へ

寄付

ありがとうございます
ありがとうございます

- 〔香典返し(敬称略)〕
- ・(故)武丸シナエ(武丸)
- ・(故)水田幸江(池田)
- ・(故)鶴本稔(吉留)
- ・(故)山本マサエ(三郎丸)
- ・(故)瀧口節子(土六)
- ・(故)永尾富士夫(城西ヶ丘)
- ・(故)谷口清美(稲元)
- ・(故)鶴田繁明(城西ヶ丘)
- ・(故)田邊誠一郎(赤間駅前)
- ・(故)牛島君枝(神湊)
- ・(故)中元道夫(田熊)
- ・(故)水上弘(村山田)
- ・(故)中野ちずみ(池浦)
- ・(故)永島松代(日の里)
- ・(故)日田サダコ(田久)
- ・宮原健(稲元)
- ・(故)才川瀧夫(稲元)

市社会福祉協議会では、随時寄付を受け付けています。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願い致します。

社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

宗像市久原180番地 メイトム宗像内
大島支所 宗像市大島180番地32 ふれ愛センター内
ホームページアドレス http://syakyo.munakata.com/
メールアドレス info@syakyo.munakata.com

社協だよりは、偶数月の1日号です (年間6回)

☎(37) 1300

☎(72) 22994